

千葉 ライフ・ライン ニュースレター No.54

【発行】千葉県テレビ伝道協力会
〒260-0021 千葉市中央区新宿2-8-2
CCCビル 「千葉ライフ・ライン係」
TEL 043-247-3058 FAX 043-247-3072
E-mail: fwhn7099@mb.infoweb.ne.jp
郵便振替：00110-8-579669
口座名 「千葉県テレビ伝道協力会」

【協力】財団法人 太平洋放送協会(PBA)
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台
2-1 OCCビル
TEL 03-3295-4921 FAX 03-3233-2650
E-mail: mail@pba-net.com
ホームページ <http://www.pba-net.com>
でんわ世の光 03-3291-9061

「フ」が消えるとき

日本ホーリネス教団茂原教会牧師 山脇 望

<フケイタイ>

ケイタイ、パソコンは生活の常識と思われるほど、身近なものになり、カラダの一部のようになっています。そこから生活の糧、知恵、必要な情報を得ています。有益であってなくてはならないものしょう。でも、使い方によってはとても有害ですが・・・。

この社会の現実にあります、筆者は誇れることではありませんが、それらなしの生活を堅持しているのです。その理由はただひとつ、生活に無くてはならないものであるという意識が湧きあがってこない、ということです。ある人に言わせれば、仕事に、生きることに怠慢である、というイメージを与えているようですが・・・。いつフケイタイから、「フ」が消えるでしょう。

<フシンコウ>

これは「神の福音」について考えるとき、同じことが言えるのではないのでしょうか。多くの人にとって、ゴスペルは必要と思いません。否必要であるということさえわからないのです。それ無しでもそれなりに生きていけるし、不足を覚えないうし、と。

その中で教会はこの福音を、何とかして人々の心に、生活の中にとどきますように、身近なものとなりますように、と働きかけ伝えています。「伝道会だ」「コンサートだ」「コーヒータイムだ」と。それは人々の心の中から少しでも、不信仰の心が消し去られますように、という願いからです。

<フネッシン>

千葉テレビを利用しての「ライフ・ライン」の働きが、何とかして人々の心の中に主イエスの救いが必要であることを、ケイタイのように身近に働いていることを、知っていただくために労しています。そのために多くのお祈りと尊いご献金が熱心にささげられています。

さらにこの働きが続けられ、心を熱くしてすすめられることが何よりも大切です。そのためには教会やクリスチャンの心の中から、フネッシンの「フ」が消し去られることが大切です。どれほどのパッションを秘めているかです。「霊に燃え、主に仕え」に生きましょう。

お茶の間に福音！

毎週土曜朝7時は、千葉テレビ「ライフ・ライン」でお楽しみ下さい。